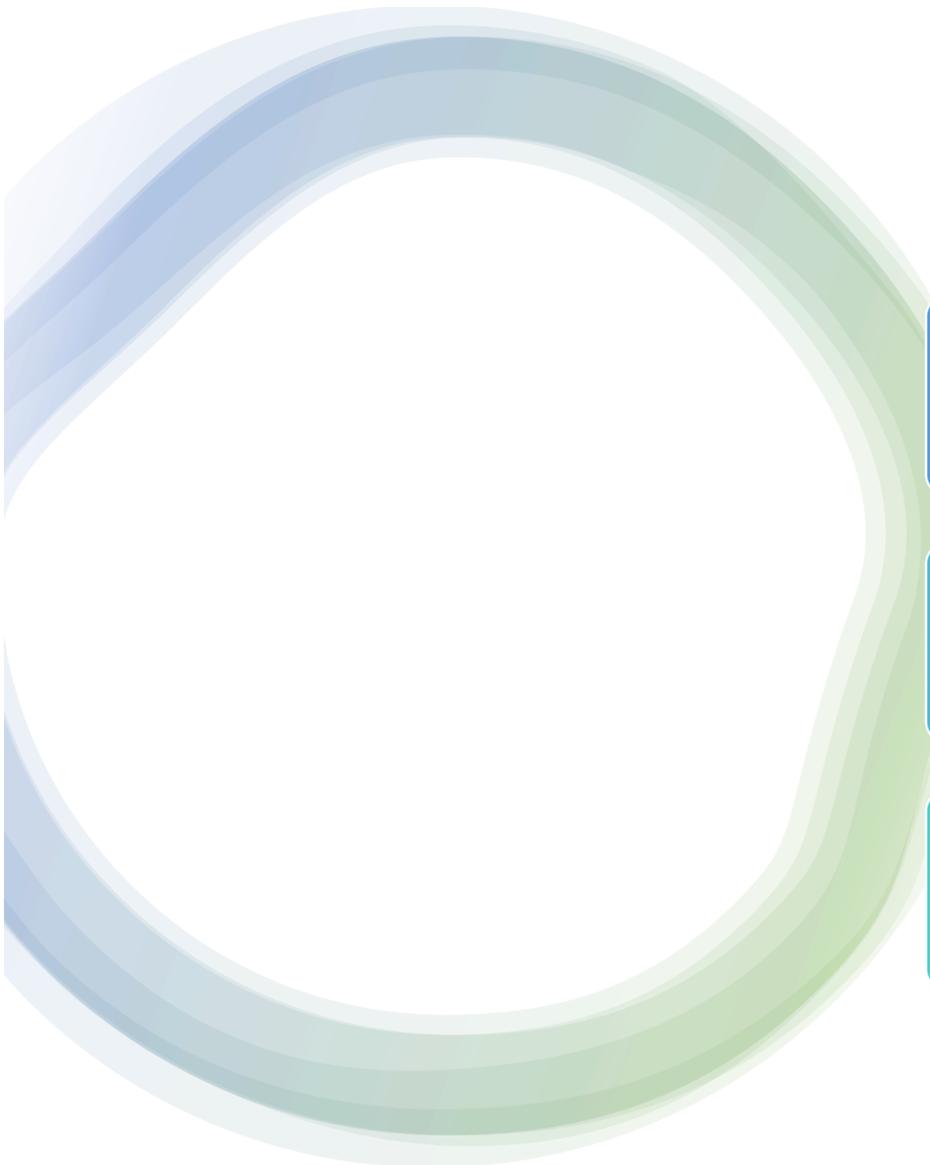


# 自分のキャリアアンカーを知る

キャリアに基づいた自己欲求や、  
自分の望む価値観を分析する考え方

組織心理学者として有名なエドガー・H・シャインが提唱したキャリアに関する理論



管理能力

技術的・機能的  
的能力

保障・安定

奉仕・社会献  
身

自律と独立

創造性

純粋な挑戦

ワーク・ライ  
フバランス

管理能力

技術的・機能的  
的能力

保障・安定

奉仕・社会献  
身

自律と独立

創造性

純粋な挑戦

ワーク・ライ  
フバランス

# 1.管理能力

専門的な職務よりも、**管理職や組織を動かす仕事に興味があるタイプ**です。  
自分自身が何かをするというよりは、人を束ねるマネジメントに強い傾向があります。  
こうしたタイプの人には、以下のような傾向があります。

- 出世思考が強い
- チームを統率する仕事に興味がある
- 経営者側の立場に立って、物事を考える

## 2.技術的・機能的な能力

このタイプは、**スキルを高めることに満足感を覚え、自らの専門的な能力をフルに発揮したいタイプ**です。

技術的・技能的能力に分類される人は、自身のスキルを高めることに価値を見出します。

- 特定の分野のスペシャリストを目指している
- 専門的なスキルは、他の人に負けたくない

### 3.保障・安定

ひとつの組織で、長期的に安定して仕事することに価値を見出します。  
終身雇用などの保障や、安定した給与・報酬を重視するタイプです。

- 新しい仕事内容に初めは抵抗がある
- キャリアチェンジに保守的

こうしたタイプの人には、大きな変化よりも、安定性を求める傾向にあります。

## 4.創造性

このタイプは、**新商品やサービスを開発したり、新規事業を立ち上げる**のに価値を見出します。

創造性に分類されるものは、**リスクを恐れず、新しいことを生み出す**のに興味があるタイプの人です。

- **今までにないものを作ることが好き**
- **自分の創造性を活かせる仕事を楽しいと感じる**
- **ベンチャー企業に興味がある**

このように、何か新しいことをはじめたり、生み出すことに充足感を覚えるタイプは「創造性」に長けているといえるでしょう。

## 5.自律と独立

まわりを気にせず、自分のペースで仕事ができる環境に価値を見出すタイプが、このタイプの特徴です。独立心が高く、組織の集団行動や、規則に縛られることが苦手な人が該当するといえるでしょう。

- 自分の納得できるやり方で仕事を進めたい
- まわりに力を借りずにひとりで仕事がしたい
- フリーランス志望が強い

規律が強い企業ではなく、自分にある程度の裁量が認められる環境で、実力を発揮できる人がこのタイプといえるでしょう。

## 6.奉仕・社会献身

自分の仕事を通じて、世の中のために貢献したいという気持ちが強いタイプです。自分のおこないによって、**世の中や人の役に立つこと**に価値を見出します。

- 医療や社会福祉といった仕事に興味がある
- 世の中に役立つ商品やサービスを開発したい

おもに社会貢献することを重要視している人は、キャリアアンカーのこの要素が多いと考えられるでしょう。

## 7. 純粋な挑戦

難題やライバルに打ち勝つことで満足感を覚える人は、この要素が強い傾向にあります。

**難題に積極的に取り組み、問題を解決すること**に価値を見出します。

- 困難な仕事や新しい仕事に挑戦したい
- 新しい役割を担う事に前向き
- ルーティンワークは苦手

挑戦を人生のテーマとし、やりがいのあるテーマに積極的に挑む傾向にあります。

## 8.ワーク・ライフバランス

ライフスタイルにおける「適切なバランス」常に考えている人は、この要素が強い傾向があります。

**仕事とプライベートを両立させる**ことに価値を見出します。

このタイプの人には、以下のような柔軟な働き方ができる企業に惹かれることが多いです。

- 育児休暇制度がある
- 福利厚生がしっかりしている
- 有給休暇を確実に取得できる

さまざまな場面でバランスを保てる生き方を目指している人に、この特徴が見られます。



## あなたのキャリアアンカーはどれにあたりますか？

- ・最近やりがいを感じた仕事は？
- ・嫌だった仕事に共通点がありますか？
- ・どのアンカーに最も近いと感じますか？



- **相手の価値観を否定しない**
  - ⇒「それも1つの考え方」という視点で見る
  - ⇒むしろ新たな着眼点と受け入れる
- **相手の良い部分に目を向ける**
  - ⇒自分にはない部分を見つけることで、嫌悪感が和らぐ
- **自分の価値観を広げる努力をする**
  - ⇒価値観の合わない人との関わりで自分の価値観や世界観を広げられる
- **ほどよい距離感を保つ**
  - ⇒相手の価値観が変わることを期待しない